

令和 3 年度 香川短期大学

学校推薦型選抜前期

21世紀型指定校選抜Ⅲ前期（特待生入試）

『国語総合』問題用紙

令和 2 年 1 月 15 日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は **一** から **四** まで、13 ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

(外山滋比古『日本語の論理』による)

問一 傍線部（a）・（c）の語句の意味を各選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。また、（b）・（d）・（e）のカタカナにあたる漢字を各選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(a) 端的に

ア 余すところなく確実に
エ わかりやすく省略して

オ あざやかに際立たせて

(b) コクヒョウ

ア 告
イ 酷
ウ 哭
エ 剋
オ 克

(c) 止揚

ア 決定的な衝突
エ 永続的な維持
オ 発展的な統合

(d) セイチ

ア 正
イ 清
ウ 整
エ 精
オ 制

(e) ソツウ

ア 素
イ 礎
ウ 疎
エ 訴
オ 疏

問二 空欄 A

を補うのにふさわしい漢字をあとの中選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 頭

イ 耳

ウ 口

エ 掌

オ 腹

カ 力

袖

問三 空欄 **B** を補うのにふさわしい語句をあの選択肢から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 エスプリ 2 モノローグ 3 プロローグ 4 エポック 5 モチーフ

問四 空欄 **C** ・ **D** を補うのにふさわしい語句をあの選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア そして イ また ウ さらに エ むしろ オ くわえて カ しかし キ まして

問五 傍線部① 「」という言語、ないしは言語的思考」とあるが、その具体的な傾向について述べている連続した二文はどれか。該当する二文の初めと終わりの各五字を答えなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問六 傍線部② 「反対のしかたがエレガントではない」とあるが、筆者が考えるエレガントな反対のしかたとはどのようなものか。文中の語句を用いて、四十字程度で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問七 傍線部③ 「反対と喧嘩の区別がはつきりしていないのが、残念ながらわれわれの社会の実情である」とあるが、そうなった理由を、筆者はどのように分析しているか。第三・四・五段落の中から、それにあたる箇所を三十字以内で抜き出し、初めと終わりの各六字を答えなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問八 本文の趣旨に合わないものをあとの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本人にとって形式的な対立をさけることは、閉鎖された土地に住み、農耕を生業の中心とする社会を生きる知恵であった。

イ 日本の社会においては、主語を明示しない文法構造やあいまいな表現が否定されるべきだとは言い切れないところもある。

ウ 日本は伝統的に演劇が不得手であったが、ドラマを求める外交においてはすぐれた成果を収めてきた。

エ 言語や習慣、文化などが異なる欧米人と互いに意思を伝え合う場合、語学力だけを重要視することには慎重であるべきだ。

オ 日本人が義理や人情にしばられて自分の意思を表明しないという点は改めるべきだが、相手への敬意もわすれてはならない。

カ 理性的に反対意見を述べ、議論を深めていくことは、日本人、欧米人に共通する、人としての力量がかった芸術と言える。

二

次の文章を読んで、
後の問い合わせに答えなさい。

この部分に記載されている文章について
は、著作権法上の問題から掲載するこ
とができませんので、ご了承願います

(夏目漱石『永日小品』による)

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います

【註】

- * 1 社寺局：神社や寺に関する一般事務を扱う部署。
- * 2 王若水：おうじやくすい。中国元代の画家。
- * 3 袋戸棚：床の間などの脇上部に設けられた戸棚。
- * 4 鉄砲玉：飴玉の一種。
- * 5 好事家：風流を好む人。
- * 6 谷中：東京都台東区にある谷中墓地のこと。やなか

問一 二重傍線部（a）～（e）の読み方をひらがなで答えなさい。

a 工面 b 融通 c 緑青 d 落款

問二 傍線部①「恨めしいほど無難作にそれがいいでしようと賛成してくれた」とあるが、老人は何に対して「恨めしい」と感じたのか。最も適当なものをあとの選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 儻が母の命日や供養に少しも関心を持つていないこと
- イ 父の言うことに素直に同調する儻の頼りない様子
- ウ 先祖伝来の懸物に愛着を持つていない儻の態度
- エ 収入が多くはない儻が、墓の費用を負担せずにすむと喜んでいる様子
- オ 父の願いを理解しようともせず、妻子の生活ばかりを優先する儻の態度

問三 傍線部②「変形した」とあるが、何が何に変形したのか。文中から適語を抜き出して、次の説明文の各空欄を補いなさい。

（I）が（II）に変形した。

問四 傍線部③「時代のために」について、ここでの意味として適切なものをあとの選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 描かれた当時の流行のために
- イ 明治維新以後の近代のために
- ウ 時流に合わなくなつたために
- エ 長い年月を経て古びたために
- オ 年月の経過に従つて芸術的価値が落ちたために

問五 傍線部④「月日に気が付いたように」とあるが、ここでの意味として適切なものを、あの選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 過去の思い出
- イ 歩んできた人生
- ウ 現在の時間
- エ 長い年月
- オ 曆に記された吉凶や年中行事

問六 傍線部⑤「老人の予期したほどの尊敬を、懸物に払うものがなかつた」とはどういう意味か。具体的に説明しなさい。

問七 傍線部⑥「四畳半の茶座敷にひつそりと懸つていて」とあるが、これを見た老人の心情を三十五字以内で記しなさい。ただし、句読点も字数に含む。

問八 問七の心情の強さが間接的に描かれている一文を抜き出し、初めと終わりの各六字を答えなさい。ただし、句読点も字数に含む。

次の四字熟語の意味として適當なものを各選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①

荒唐無稽

- ア 説明不足で、十分に理解されないこと
 イ 即物的で、味わいや潤いがないこと
 ウ 信念がなく、滑稽で無駄なこと
 エ 言動に根拠がなく、現実味のないこと
 オ 内容が粗雑で、面白味がないこと

②

枝葉末節

- ア 主要でない事柄
 イ 役に立たない事柄
 ウ ほそぼそと持続する事柄
 エ 発展の可能性をもつ事柄
 オ 自然に消えていく事柄

③

同工異曲

- ア 見かけは同じだが中身は違う
 イ 見かけは違うが中身は同じ
 ウ 見かけほど中身に意味がない
 エ 見かけも中身もまったく違う
 オ 見かけも中身もまったく同じ

④

深謀遠慮

ア 浅はかな計略

イ 深く考えて身を引くこと
ウ 引け目のある画策

エ よく考えて辞退すること
オ よく考えて先を見通すこと

切歎扼腕

ア ただひたすら悲しむさま
イ 他人を深く恨み憎むさま
ウ 激しくやしがりいきどおるさま
エ 身ぶり手ぶりを大げさにするさま
オ 一途に絶望の底に沈むさま

⑤

次の各傍線部について、その意味・用法が同じものを各選択肢からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 彼女はごく稀に、遅刻することがある。

ア 駅の前に小さな雑貨店がある。

イ 彼の発言は優しさに欠ける

ウ 今は合わずに帰ろう

エ 朝八時に出かける

オ 雨が静かに降っている

② 既得権を守ることが目的であるような政策を続けて…

ア あの先輩のような人になりたい。

イ 砂漠のような都会で暮らす。

ウ その会社はよく知られているようだ。

エ さつき説明したような理由がある。

オ 忘れないように確認しなさい

③ 空が夕陽で赤く染まつた

ア イルカの群れが海面で大きく跳ねた

イ 救助隊が救命ボートで向かつた

ウ 選手たちは猛練習でひどく疲れていた

エ 子供たちが数人で輪になつて遊んでいる

オ 親たちが笑顔でやさしく出迎えた

④

やはりいい子であつたのだと、うれしかつたそうだ
ア そうだ、東京へ行こう

イ 彼は研究のために米国へ行くそうだ
ウ 今年の紅葉は例年より早そうだ

エ 平安神宮もそうだが、京都はしだれ桜が多い

オ 神戸へ行こうかと誘われたら、彼女も行きそうだ

ア およそ百人ほどが集まつた

イ およそ予想していたとおりだ

ウ およそ同じような意味だ

エ およそ考えられない

オ およそこの世は住みにくい

⑤

イ 金属の歯車を噛み合わせるのとはおよそ違つた伝達である

ア およそ百人ほどが集まつた

イ およそ予想していたとおりだ

ウ およそ同じような意味だ

エ およそ考えられない

オ およそこの世は住みにくい